

授業概要

商品及びサービスの社会経済的流通の現代的形態、役割、機能など現代的流通のメカニズムについての総合的認識の基礎を提供し、生産者の行動及び消費者との関連におけるその空間構造の考察を主要な専攻分野としている。

また、ソフト化・サービス化・グローバル化という特徴的な事象を考察することによって、新たな流通論の目標と理論の体系を確立し、現代における流通理論のフレームワークを提案するのが本授業の目的である。

授業計画

第 1 回	「流通」、「流通問題」とは何か
第 2 回	商業・流通の発生と発展
第 3 回	流通の概念と流通の研究方法
第 4 回	流通機能と商業 I
第 5 回	流通機能と商業 II
第 6 回	小売業 I
第 7 回	小売業 II
第 8 回	卸売業 I
第 9 回	卸売業 II
第 10 回	小売業の流通戦略
第 11 回	卸売業の流通戦略
第 12 回	メーカーの流通戦略
第 13 回	国際流通
第 14 回	流通政策と物流政策
第 15 回	総まとめ
第 16 回	期末試験

到達目標

商品及びサービスの社会経済的流通に関する基礎概念と流通問題を理論と事例の両面から総合的に考察することによって、流通理論の体系化とその対応課題を戦略的に提案できる知識の獲得を到達目標とする。

履修上の注意

全講義回数（期末試験を含む）の 3 分の 2 以上出席したものに対して期末試験の受験資格が与えられる。ただし、大学が認める認欠に対しては手続きもしくは書類が提出されたものは認める。特に、遅刻は講義開始 10 分以内の入室を認めるが、2 回で 1 回の欠席とする。また講義中、私語により他の受講者に迷惑をかけるものは退室させることがある。

予習復習

事前に配布したレジュメと流通関連記事を読んで学習すること。特に講義の進め方は、黒板にレジュメの要点を板書きし解説しますので、毎回の講義の内容を理解すると同時に各自ノートを作成することが必要である。なお、復習するときにはキーワードを中心にチェックし再確認することが重要である。

評価方法

期末試験(60%)、レポート(30%)、授業への意欲・態度(10%)の割合で評価する。

テキスト

授業において資料を配布する。